

1. はじめに

広島県腫瘍登録事業は、昭和48年（1973年）4月1日から開始され、事業開始から40年以上が経過しました。平成26年（2014年）12月末までの総登録受付件数は1,215,952件に達しています。長きにわたる各施設のご理解とご協力の賜であり、本事業に尽力いただいた諸先生方に感謝申し上げます。

さて、本腫瘍登録事業は平成17年（2005年）より広島県地域がん登録と一体化をはかり、広島市地域がん登録を加えた3つのがん登録によって広島県のがん登録を構築しております。特に腫瘍登録からの病理情報は広島県のがん登録の精度向上に寄与しているものと自負しております。

このたび、腫瘍登録のデータ集計を基に、38冊目となる腫瘍登録事業報告書を作成いたしましたのでお届けいたします。今年度は毎年行っている特定臓器解析は行わず、より即時性のある情報をお届けするため、本報告書に加え平成23年（2011年）の腫瘍組織登録の結果を記載した報告書を発行いたします。

平成22年（2010年）に腫瘍と診断された腫瘍登録の結果をまとめました本報告書では、「グラフで見る2010年のデータ」として掲載しております。

男性の悪性腫瘍では、前立腺がんが占める割合が年々増加しており、登録数全体に対する割合が大きく増加しています。また、女性の悪性腫瘍では乳がんの登録数だけでなく、子宮頸がん、甲状腺がんも2005年以降に徐々に増加傾向が見られることも、この報告書から読み取れます。最新の情報を掲載しておりますので是非ご覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

この腫瘍登録事業で収集した貴重なデータを疫学研究に限らず、広く皆さまに活用し、広島県の目指す「がん対策日本一」をともに推進して行きたいと存じます。併せて、本報告書をお手に取られた皆さまにも研究等に利活用いただきたく考えております。

これからも本事業に対して、ご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成27年3月

広島県医師会長

広島県腫瘍登録委員会委員長

平 松 恵 一